

技術士(応用理学部門) キャリア形成スキーム(例) (案)

資料4-5

この技術士キャリア形成スキームは、応用理学部門の技術士の生涯を通じたキャリアパスの観点から、応用理学部門の技術士の段階(ステージ)に応じた資質能力等と技術士資格の位置付けについて例示的に作成したものである。

項目	ステージ1	ステージ2	ステージ3
①技術士像	<p>技術士の指導の下、クライアントの要求する課題のうち具体的な課題は自ら、複合的または階層的な課題は指導技術者の協力のもとで抽出し、基礎的学識、一定の実務経験及び技術者倫理を持ち、これら課題の解決策を提案・実行してクライアントの要求を満足する成果品(調査結果・研究結果・製品等)を提供する専門技術者</p>	<p>複合的または階層的な課題を抽出し、豊富な実務経験及び高い技術者倫理を持ち、これら課題解決を遂行する技術者であって、技術士補を指導し、工学と理学のインターフェイスを担うため、必要に応じて他の技術分野の技術者と協働して、クライアントの要求を満足する成果品(調査結果・研究成果・製品等)を提供する専門的応用能力を有する技術者</p>	<p>「総合技術士」:業務全体を俯瞰し、クライアントの要求を満足する成果品(調査結果・研究結果・製品等)の製造過程に係る以下の事項について、専門を横断して総合的な技術監理を行うとともに、技術士を指導・監督し、社内外における最終的な責任を負う技術者</p> <p>①安全管理 ②社会環境と調和 ③経済性(品質、コスト、生産性) ④情報管理 ⑤人的資源管理</p> <p>「専門技術士」又は「上級技術士」:ステージ2を包括し、一定以上の継続研さん(CPD)及び業務実績を有する等、所定の要件を満足するより高度な専門的応用能力を有する技術者 ←資格取得は申請のみ。</p>
②年齢の目安	学卒～30代前半	30代後半～40代	40代～
③職位等の具体例	○民間技術者 技師、主任、係長	○民間技術者 主任技師、課長、技術士業開業者	○民間技術者 部長、技師長、技術士業開業者
④職位等における業務の性格	上職より指導を受け業務を推進する。	自らの判断で担当業務を推進し、部下を指導する。	成果品(調査結果・研究結果・製品等)に対して、社内外の最終的な責任を負う。
⑤資格	技術士補(応用理学部門)	技術士(応用理学部門)	総合技術士【仮称】

⑥資格に求められる知識・能力	応用理学部門の技術士として必要な科学技術全般にわたる基礎的学識や技術者倫理	応用理学部門の技術士として必要な応用理学部門についての専門的学識及び高等の専門的応用能力	応用理学を専門技術としつつ、総合技術監理部門の技術士として、幅広い見識と豊富な実務経験を踏まえて、専門技術以外の技術を含めた複合的な問題を解決するために必要な応用能力に加え、これらに関する安全性や経済性の向上等を図るために監督、管理する能力
⑦受験資格	年齢・学歴・業務経歴等による制限なし	技術士補となる資格を有し、一定の実務経験年数を有する者	応用理学技術士となる資格を有し、以下のいずれにも該当する者 (1)一定の実務経験年数を有すること (2)総合技術士になるために受講することが必要と認められたCPDを一定時間受講すること
⑧受験に必要な実務経験年数	なし	7年以上	7年以上
⑨資格活用状況	(今後記入)	(今後記入)	(今後記入)
⑩他の資格との関係	(今後記入)	(今後記入)	(今後記入)